

株式の状況(2019年9月30日現在)

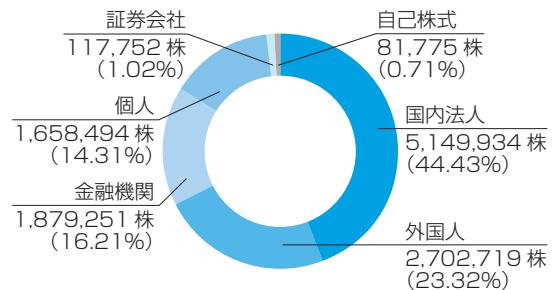
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 25,392,000 株 |
| 発行済株式総数 | 11,589,925 株 |
| 株主総数 | 4,714 人 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 東ソー株式会社 | 4,875 | 42.36 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 401 | 3.49 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 370 | 3.22 |
| ビービーエチ サ アドバイザーズ インナーサークル ファンド ツークベルニク グロ オール キャップ ファンド | 274 | 2.38 |
| GOVERNMENT OF NORWAY | 211 | 1.84 |
| 株式会社みずほ銀行 | 200 | 1.74 |
| SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT | 155 | 1.35 |
| みずほ信託銀行株式会社 | 155 | 1.35 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 143 | 1.25 |
| ビービーエチ ポストン カस्टディアン フォービービーエチディー エスアイエイ ヘプタゴン ファンド ビーエルシー コベル620357 | 137 | 1.19 |

※持株比率は自己株式(81,775株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

| | | |
|--------|--|------------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | |
| 定時株主総会 | 6月 | |
| 基準日 | 定時株主総会の議決権 | 3月31日 |
| | 期末配当 | 3月31日 |
| | 中間配当 | 9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 | |
| 公告掲載方法 | 電子公告 公告掲載URL https://www.organo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。 | |
| | 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 | |
| 連絡先 | 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 |
| | 電話照会先 | 0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| | 上場証券取引所 | 東京証券取引所(市場第一部) |

株式に関する諸手続のお申し出先について

- 住所変更、配当金受領方法の指定、単元未満株式の買取請求及び買増請求などの株式の諸手続につきましては、お取引のある証券会社にお申し出ください。
- 証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様の株式の諸手続につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社の全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)でお取り扱いいたします。



第75期中間 株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



ORGANO



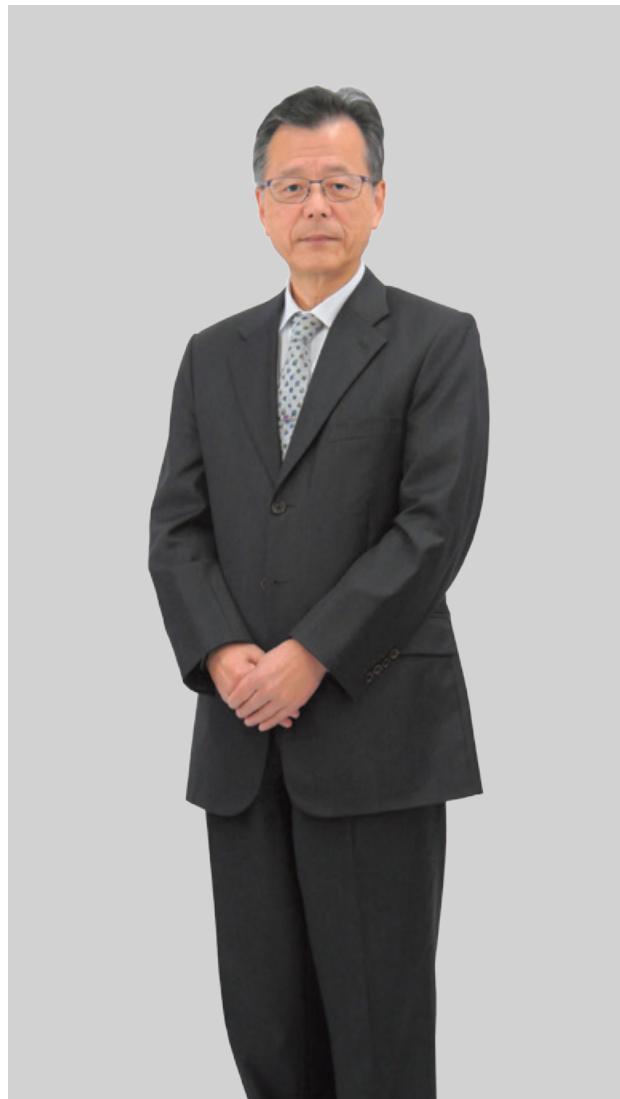
オルガノ株式会社

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 経営統括本部 経営企画部 電話 03-5635-5111
当社ウェブサイト <https://www.organo.co.jp/>



オルガノ株式会社

証券コード：6368



代表取締役社長 社長執行役員
内倉昌樹

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第75期事業年度上期(2019年4月1日～2019年9月30日)の概況をご報告申し上げます。

当上期における世界経済は、貿易摩擦の影響が表面化し、景気の減速感が強まり、設備投資の低迷が見られました。国内においては、スマートフォンやデータセンター需要の停滞などを背景とした市況の悪化が見られたものの、産業全般で生産活動や維持・更新需要を中心とした設備投資は底堅く推移しました。

こうした中、受注高は前下期に比べて減少しましたが、売上高は前期に受注した大型プロジェクトが順調に進捗し、メンテナンスや改造工事等のソリューションサービスも好調だったことから大幅増収となりました。利益面も売上高が増加したことやプラント部門の原価低減等による採算性の改善により大幅に増加し、上期では過去最高益を記録しました。

当期の中間配当につきましては、好調な業績を勘案して、前中間期からは18円、前期末からは3円増配の1株当たり47円といたしました。

今後も全てのステークホルダーのパートナー企業として、産業と生活に必要な水の提供及び産業と技術の発展と高度化に貢献することで社会的価値・経済的価値の創造を行います。

そして、さらなる企業価値・株主価値の創造を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年12月

経営理念・経営ビジョン

経営理念

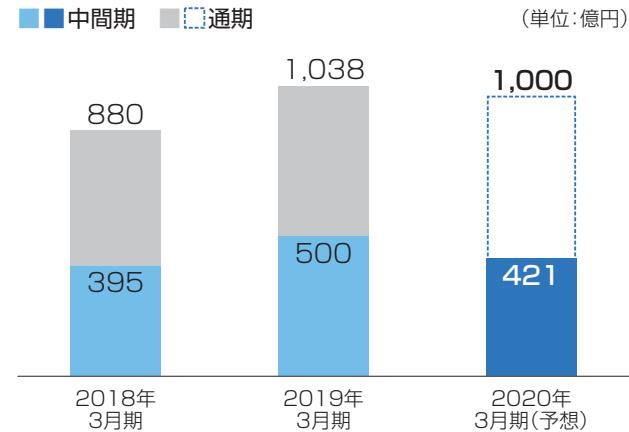
オルガノは
水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と
社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

長期経営ビジョン

- 付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に
事業領域と展開地域を拡大し、
産業と社会の価値創造と課題解決
を推進する製品・サービスを
絶えず提供します。
- 昨日までのやり方を、
明日に向けて、
今日変える人をつくり、
一人ひとりが働きがいと
活力に満ちた企業を構築します。

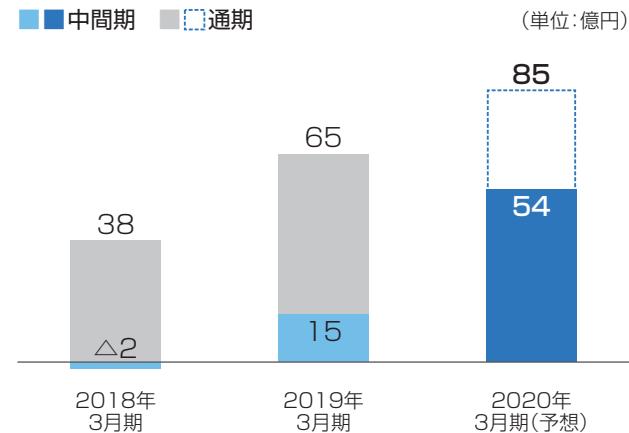
受注高

421 億円 15.7%減(前年同期比)



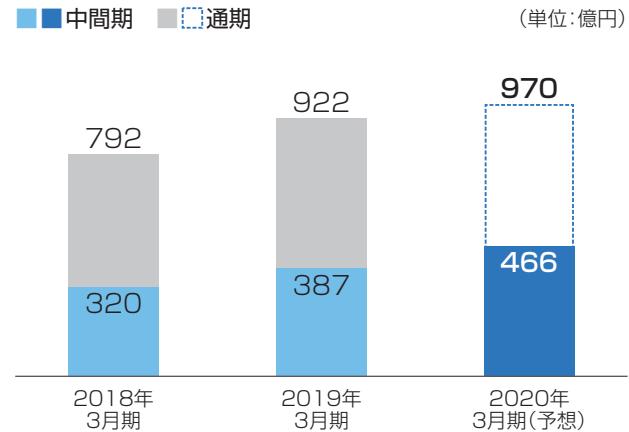
営業利益

54 億円 260.6%増(前年同期比)



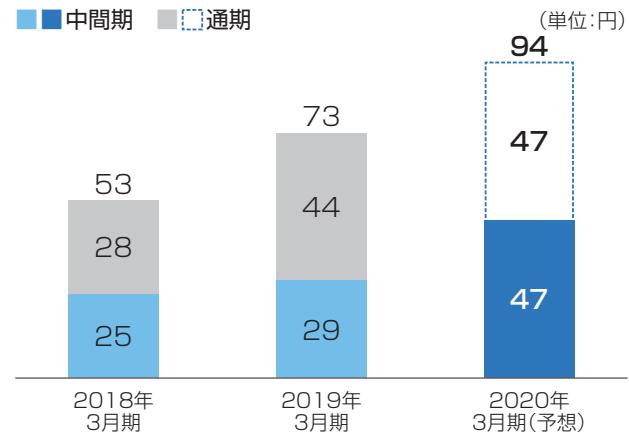
売上高

466 億円 20.4%増(前年同期比)



1株当たり配当金

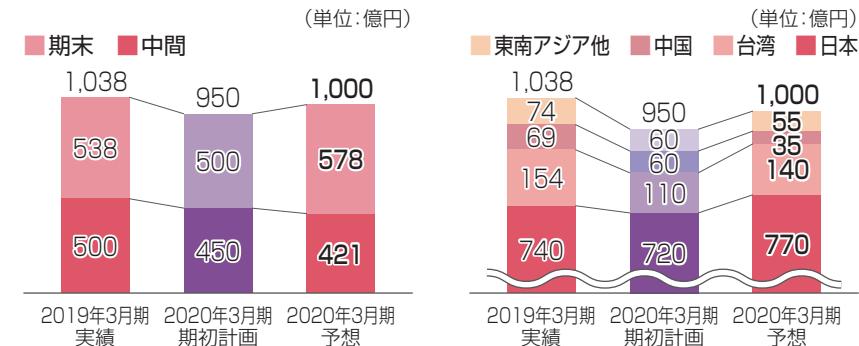
47 円 +18 円(前年同期は29円)



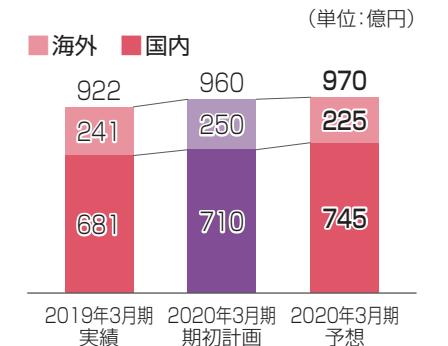
(単位: 億円)

| | 2019年3月期 実績 | 予想 | | | | | |
|---------------------|----------------|------------------|------|------------------|---------------------|------------|--------------|
| | | 中間 | | 通期 | | 通期対 前期差 | 通期対期初 計画差 |
| | | 2020年3月期 期初計画 | 実績 | 2020年3月期 期初計画 | 2020年3月期予想 (修正値) | | |
| 受注高 | 1,038 | 450 | 421 | 950 | 1,000 | -38 | +50 |
| 売上高 | 922 | 430 | 466 | 960 | 970 | +47 | +10 |
| 売上総利益 | 229 | 99 | 137 | 234 | 259 | +29 | +25 |
| 販管費 | 163 | 83 | 83 | 168 | 174 | +10 | +6 |
| 営業利益 | 65 | 16.0 | 54.4 | 66 | 85 | +19 | +19 |
| 経常利益 | 65 | 15.5 | 53.1 | 65 | 83 | +17 | +18 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 44 | 8.0 | 36.4 | 44 | 56 | +11 | +12 |

受注高(期別・地域別)

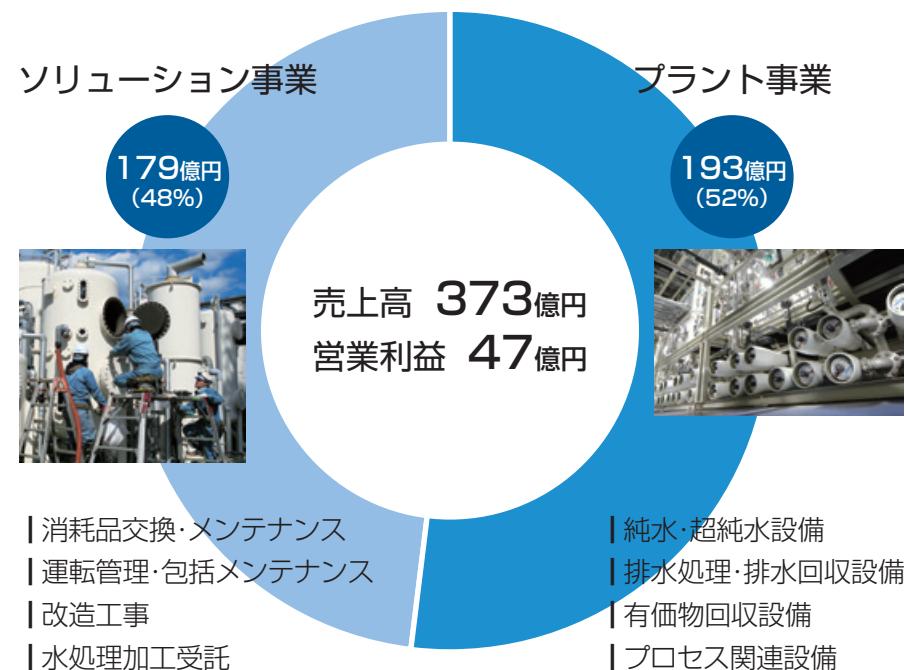


売上高



受注高は米中摩擦の影響で不透明感が強い中国の減少を見込むも、下期の台湾の設備投資回復、国内大型案件が支え、売上高は過去最高を見込んでおります。

水処理エンジニアリング事業



売上高は、電子産業分野において半導体関連の大型プロジェクトの工事が順調に推移し、また、産業全般でソリューションサービスが拡大したことから、増収となりました。利益面は、大型プロジェクト進捗による増収効果に加え、原価低減策によるプラント部門の収益性改善や、ソリューション部門の売上拡大などによって利益率が改善し、大幅増益となりました。

電子産業分野
売上高 222億円

- 半導体
- FPD
- 電子部品

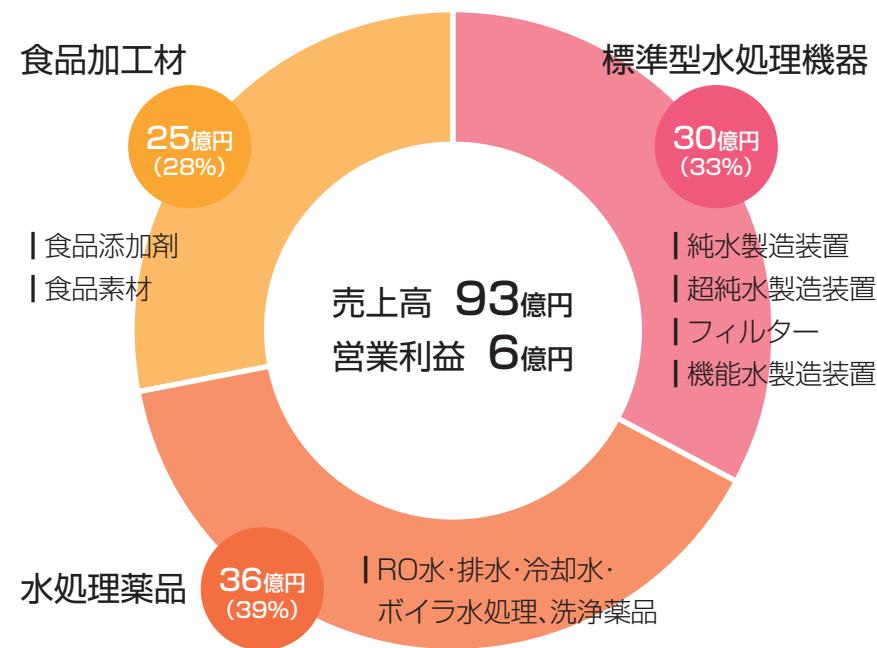
電力・上下水分野
売上高 40億円

- 発電所
- 浄水場
- 下水処理場

一般産業分野
売上高 110億円

- 医薬品／化粧品
- 食品／飲料
- 機械／素材／化学

機能商品事業



売上高は、標準型機器・フィルターが堅調に推移し、排水処理剤や冷却水処理剤などの各種水処理薬品の販売も順調だったことから、増収となりました。一方利益面は、新商品・新技術への開発投資や海外展開の拡大に向けた生産・販売体制の拡充など将来に向けた事業強化コストが増加した結果、減益となりました。

標準型機器・フィルター

- 研究所／医療機関
- 各種工場
- 飲食店／コンビニ

水処理薬品

- 各種工場
- ビル
- 商業施設

食品加工材

- 食品加工
- 飲料製造
- 介護食／健康食品

■ ICT技術を用いた現場業務の効率化推進

プラント建設を含む建設工事は、製造業のように工場内で製造・作業を行うのではなく、工事現場ごとに作業が行われます。現場ごとに必要な材料・機材や人員が調達され、現場間を移動します。このため、一般的に建設業は、大量生産による効率化が難しい業種といわれています。今後見込まれている生産人口の減少や働き方改革を受けて現場の生産性向上が重要な課題となっており、当社も様々な取組みを進めています。

● タブレットの活用

当社では、現場作業の生産性向上のため、ICTを活用した業務効率化に取り組んでいます。

例えば、現場で業務を行う社員向けにタブレットPCを約80台導入し、日々の現場作業用のツールとして活用しています。

タブレットPCの導入により、図面などの多量で重い技術資料を持ち運ぶことなく閲覧することや、現場で撮影した写真をその場で配信して、即座に情報共有することが可能となり、作業時間の短縮に繋がりました。



タブレットPCを活用した点検作業

● スマートグラス活用遠隔作業支援システムの導入

タブレットの他にも、スマートグラスを活用した遠隔作業支援システムを導入しました。これまでプラント建設時等、現場で問題が生じた際に、メールや電話を使って本社設計が現場を支援していましたが、意思疎通に課題がありました。本システムにより、スマートグラスを通して本社にいる設計部門担当者と現場監督者が映像・音声を共有することで、スピーディで的確な現場支援が可能となりました。

今後は社内だけではなく、お客様との情報共有や海外拠点での利用など本システムの適用範囲を広げ、さらに高品質でスピーディなサービスを提供してまいります。



遠隔作業システムを用いた現場と本社間のコミュニケーションの様子

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前期末 (2019年3月31日現在) | 当第2四半期末 (2019年9月30日現在) |
|----------------|-----------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 76,037 | 74,622 |
| 固定資産 | 25,220 | 25,176 |
| 有形固定資産 | 19,272 | 19,284 |
| 無形固定資産 | 1,209 | 1,105 |
| 投資その他の資産 | 4,739 | 4,786 |
| 資産合計 | 101,257 | 99,798 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 39,930 | 33,292 |
| 固定負債 | 6,531 | 8,631 |
| 負債合計 | 46,462 | 41,924 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 55,071 | 58,303 |
| 資本金 | 8,225 | 8,225 |
| 資本剰余金 | 7,508 | 7,508 |
| 利益剰余金 | 39,967 | 43,100 |
| 自己株式 | △ 629 | △ 531 |
| その他の包括利益累計額 | △ 414 | △ 556 |
| 非支配株主持分 | 138 | 127 |
| 純資産合計 | 54,795 | 57,874 |
| 負債純資産合計 | 101,257 | 99,798 |

● **資産の部**

たな卸資産は増加したものの、現金及び預金、リース投資資産の減少などにより1,459百万円減少しました。

● **負債の部**

長期借入金は増加したものの、仕入債務及び短期借入金の減少などにより4,537百万円減少しました。

● **純資産の部**

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより3,078百万円増加しました。

● **営業活動によるキャッシュ・フロー**

916百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上によるものであり、主な支出は仕入債務の減少、たな卸資産の増加、法人税等の支払によるものです。

● **投資活動によるキャッシュ・フロー**

612百万円の資金流出となりました。主な支出は有形固定資産の取得によるものです。

● **財務活動によるキャッシュ・フロー**

1,217百万円の資金流出となりました。主な資金の増加は長期借入金の増加によるものであり、主な支出は短期借入金の返済及び配当金の支払によるものです。当期の現金及び現金同等物は前期末に比べ2,885百万円減少し、8,391百万円になりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前第2四半期(累計) (2018年4月1日から 2018年9月30日まで) | 当第2四半期(累計) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで) |
|---|---|---|
| 売上高 | 38,782 | 46,675 |
| 売上原価 | 29,421 | 32,883 |
| 売上総利益 | 9,361 | 13,792 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,851 | 8,348 |
| 営業利益 | 1,509 | 5,444 |
| 営業外収益 | 103 | 187 |
| 営業外費用 | 63 | 314 |
| 経常利益 | 1,549 | 5,317 |
| 特別利益 | 1 | 4 |
| 特別損失 | 1 | 5 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,549 | 5,316 |
| 法人税等 | 637 | 1,675 |
| 四半期純利益 | 912 | 3,640 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △ 3 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 916 | 3,640 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前第2四半期(累計) (2018年4月1日から 2018年9月30日まで) | 当第2四半期(累計) (2019年4月1日から 2019年9月30日まで) |
|------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 977 | △ 916 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 147 | △ 612 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,488 | △ 1,217 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 68 | △ 138 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 726 | △ 2,885 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,652 | 11,276 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,926 | 8,391 |

会社概要

| | |
|--------|--|
| 商号 | オルガノ株式会社 (英文 ORGANO CORPORATION) |
| 本社 | 〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号 |
| 創業 | 1946年5月1日 |
| 資本金 | 8,225,499,312円 |
| 従業員数 | 連結2,249名 (単体1,044名) |
| 事業内容 | 当社は総合水処理エンジニアリング会社として、イオン交換樹脂、分離膜、活性炭等を使用する各種排水処理装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理アウトソーシング受託並びに各種薬品、食品加工材の販売を主な事業としております。 |
| 開発センター | 相模原 |
| 工場 | つくば、いわき |
| 支店 | 北海道、東北、関東、中部、関西、中国、九州、台湾 |

主要なグループ会社

| 連結対象子会社 | |
|-----------------|--|
| 国内 | 海外 |
| オルガノプラントサービス(株) | Organo(Asia) Sdn.Bhd. |
| オルガノフードテック(株) | 奥加諾(蘇州)水処理有限公司 |
| オルガノエコテクノ(株) | 奥加諾(上海)水処理有限公司 |
| オルガノアクティ(株) | Organo(Thailand) Co.,Ltd. PT Lautan Organo Water |
| その他グループ会社 | |
| 国内 | 海外 |
| (株)ホステック | Organo(Vietnam) Co.,Ltd. |
| 東北電機鉄工(株) | Organo(Singapore) Pte Ltd Murugappa Organo Water Solutions Private Limited |

取締役・監査役

| | |
|------------|------|
| 取締役 取締役会議長 | 鯉江泰行 |
| 代表取締役社長 | 内倉昌樹 |
| 取締役 | 堀比斗志 |
| 取締役 | 明賀春樹 |
| 取締役 | 中山泰利 |
| 取締役 | 須田信良 |
| 取締役 | 山田正幸 |
| 社外取締役 | 永井素夫 |
| 社外取締役 | 照井恵光 |
| 社外取締役 | 平井憲次 |
| 常勤監査役 | 豊田正彦 |
| 社外監査役 | 和田正夫 |
| 社外監査役 | 樋口達 |

執行役員

| | |
|--------|--------|
| 社長執行役員 | ※ 内倉昌樹 |
| 常務執行役員 | ※ 堀比斗志 |
| 常務執行役員 | ※ 明賀春樹 |
| 常務執行役員 | 福田和久 |
| 常務執行役員 | 浅野伸 |
| 常務執行役員 | 富沢真 |
| 執行役員 | ※ 中山泰利 |
| 執行役員 | ※ 須田信良 |
| 執行役員 | 真鍋敏樹 |
| 執行役員 | 大賀克巳 |
| 執行役員 | 國枝達也 |
| 執行役員 | 島田健 |
| 執行役員 | 本多哲之 |
| 執行役員 | 秋元英良 |
| 執行役員 | 久木崎誠 |

※は取締役兼務者であります。